

令和3年度 本山小学校 学校教育目標及び学校経営方針

令和3年4月1日
五島市立本山小学校
校長 川崎 康

1 教育方針

日本国憲法，教育基本法，学校教育法等関係法令に則り，長崎県教育振興計画並びに五島市教育方針に従い，学校評価を踏まえ，歴史と伝統の上に立って，地域の特性と本校児童の実態に基づく教育を推進する。

そのため，教育愛を基調とした使命感と自覚に満ちた全職員の総意を結集し，時代が要請する新しい教育の方針を見極め，児童が生涯に生きて働く資質や能力の育成を図る。

2 校訓 貫く

3 学校教育目標

もっと 輝こう 本山っ子

4 めざす児童像（本山小学校が育成したい資質・能力）

※ 学校教育目標「もっと 輝こう 本山っ子」とは次の「4つの心」をもった子どもである。

「もっと本山っ子」がもつ「4つの心」

【自主】
【友愛】
【錬磨】
【勤労】

もっと自ら考え行動する子ども

もっと助け合い仲良くする子ども

もっと粘り強くやりぬく子ども

もっと人のために役立つ子ども

何を理解しているか
何ができるか

生きて働く
「知識・理解」の習得

理解していることを
どう使うか

未知の状況にも対応できる
「思考力・判断力・表現力」
等の習得

どのように社会・世界と関
わりよりよい人生を送るか

「学びに向かう力・人間性
等」
の涵養

（学習指導要領 「生きる力」を育むために育成する3つの資質・能力）

5 めざす教師像

- 情熱をもち、使命を自覚し、信頼される教師・・・「自主」
- 子ども一人ひとりを大切にする教師・・・「友愛」
- 研鑽に励み指導力を高め、向上する教師・・・「錬磨」
- 心身ともに健康で、互いに信頼し協働する教師・・・「勤労」

6 めざす学校像

- | | |
|---------------------------|------|
| ○ 活気に満ちた学校 | 「自主」 |
| ○ 子どもが通いたいと思う学校 (楽しく安全) | 「友愛」 |
| ○ 「時を守り」「場を清め」「礼節を重んじる」学校 | 「錬磨」 |
| ○ 地域が力になりたいと思う学校 (おらが学校) | 「勤労」 |

7 学校経営の方針

本山小学校の歴史と伝統、地域の特性と児童の実態や保護者の願いを踏まえ、全ての教職員が学校教育目標の実現のため一致団結する。そのために必要な教育の内容等を教科横断的な視点で組み立てること、その時々で評価し改善を図ること、人的又は物的な体制を確保することなどを行い、教育課程に基づき組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図ること。(カリキュラム・マネジメント) また、地域に根ざした教育活動を展開する。(社会に開かれた教育課程)

本山小学校の強みと弱み(学校課題)を明確にし、児童の実態に即した改善計画を策定・実践する。そのことにより児童の確かな変容を実現し、児童・保護者・地域から信頼される学校を構築する。

支え合い、高め合う職員室づくりに努め、教職員個々の人間性と指導力の向上を図り、児童一人一人の教育的ニーズに応じた教育活動(特別支援教育の理念)を展開することにより、実社会・実生活に生きる力の育成をめざす学校経営を行う。

- 常に「子どもを中心に」据えた教育活動を行う。
 - ・子どもの命と安全の保障
 - ・子どもの成長(教育成果)を明確に出す。(学校評価等で4段階で3.5以上)
- 学習意欲を高め、基礎学力の定着を図り、児童の学力向上のために全職員で取り組む。
 - ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う
 - ・長崎県教育委員会(五島市版)「新学力向上のための3つの提案」の推進
- 心の教育の実践に努め、生活指導の充実を図る。
 - ・「自己有用感を高める子ども」の育成
 - ・道徳教育の充実(特別な教科 道徳を要に)
 - ・多様な人々との協働の場を多く設定する
 - ・感動、賞賛のあふれる学校
 - ・高学年が手本になる。(さぼる子がない学校)
- 学校の組織体制のもと、全職員の信頼と協力により、運営の効率化を図る。
 - ・縦の連携 校長←→教頭←→各主任←→教職員 【報告・連絡・相談】の徹底
 - ※ 主任への報告(複数で対応)
 - ※ 「即」の対応
 - ※ 教頭が知らないことが無い学校
 - ・横の連携 誉め合う・見せ合う・声をかけ合う・頼り合う
- 地域に密着した、地域に根ざした開かれた学校を目指す。
 - ・故郷本山(五島)を愛し、誇りに思う子どもの育成
 - ・PTA・学校評議員・学校支援会議・自己評価・学校関係者評価
- 新型コロナウイルス感染症防止対策。
 - ・マスク、うがい・手洗い、検温等の徹底
- 教育者としての自覚と誇りを持ち、成長する教職員集団を創る。
 - 飲酒・酒気帯び運転の撲滅
 - セクハラ・パワハラ・わいせつ行為の根絶
 - 体罰の禁止
 - 情報セキュリティ対策の徹底
 - 公私金の厳正な処理

8 令和3年度の重点努力目標

- 学校教育目標を全職員で共有し達成に向け努力する。
 - ・学級経営、日常生活、行事等で具現化。
 - ・教職員、子どもが言葉にし、実践する。
- 全職員で111名の児童を育てる。
 - ・組織体制の確立
 - ・特別支援教育の視点で、子ども一人ひとりを大切にされた指導
- 自己有用感を高める指導。
 - ・スモールステップで目標に向かい、達成感をもたせる指導
 - ・居場所作り、役割をもたせる
 - ・ほめて伸ばす
- 学力向上。
 - ・校内研修の充実